

TECデモ【DB2/IMSデータの有効利用】

～メインフレームのデータを自由自在にアクセス!



－ メインフレーム上のDB2/IMSの有効活用と情報統合を促進するデータ連携ソリューション － メインフレーム上のデータを身近にご活用いただけるツールをご紹介します

【こんなことでお悩みではありませんか】

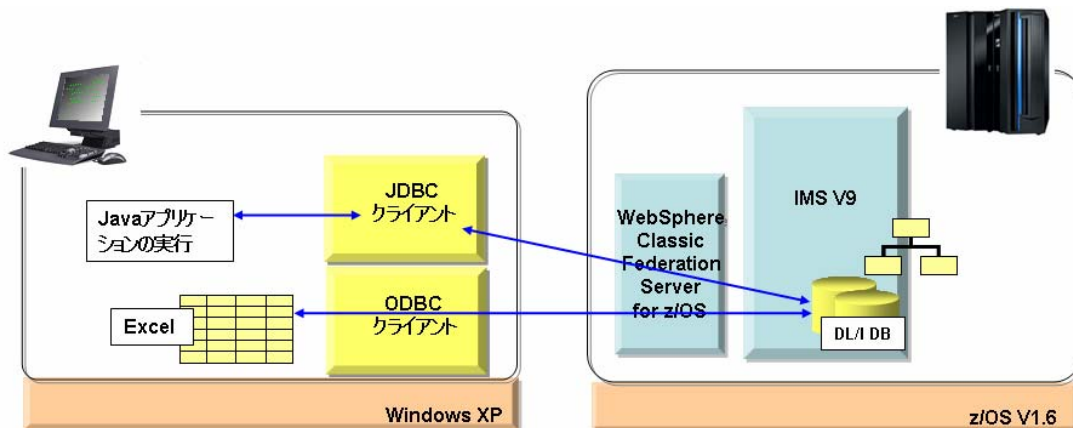
- IMSデータを活用したいが、専用のアプリケーション開発スキルをもつ人材がない
 - ・IMSデータを簡単に検索したい...
- 参照したいデータが異種分散環境に散在していて管理に困っている
 - ・データベース間の同期を取るのに数日かかることもある...最新の情報をほぼリアルタイムに得たい
 - ・データ転送をバッチで実行しているが、全件洗い替えになって長時間かかってしまう...

【デモの価値】

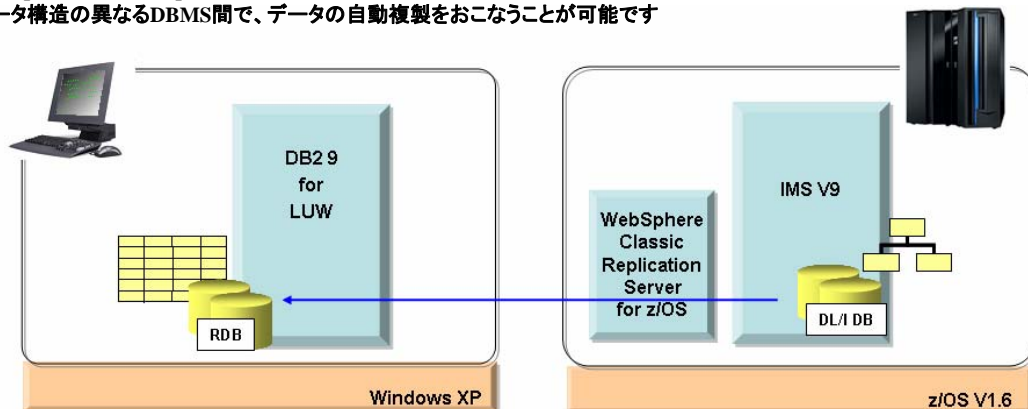
- データ構造の異なるデータベース間でもSQLインターフェースによる連携が可能であることをご確認いただけます!
 - ・アプリケーション開発においてメインフレーム特有のスキルは必須ではありません。
- 異種分散環境上のデータベース間の同期を擬似リアルタイムに実行できることをご確認いただけます!

IMSデータソースとの連携ソリューションデモ

WebSphere Classic Federation Serverを通して、クライアントのアプリケーションからメインフレーム上のDL/Iデータベースに対してリレーショナルアクセスをします。DL/Iデータベースにアクセスするためのメインフレーム上のアプリケーション開発は不要です



WebSphere Classic Replication Serverを通して、分散プラットフォーム上のUDBに直接データを複製します
データ構造の異なるDBMS間で、データの自動複製をおこなうことが可能です



<デモ内容のご紹介>

【IMSデータベースへのフェデレーションアクセス】

- フェデレーションアクセス(SQLインターフェースでのアクセス)を実現するWebSphere Classic Federation Serverのコンポーネントをご紹介します。
- ツールによる、アクセス対象のIMSデータベースの階層型構造と関係型構造のマッピングのしくみをご紹介します。
- ODBC経由でクライアントPC上のExcelにIMSのデータを取り込みます。
- JDBC経由でJavaでコーディングしたアプリケーションからSQLインターフェースでIMSのデータを抽出します。

【IMSデータベースをUDB for LUWにレプリケーション】

- 異種分散環境のDBMS間の自動複製を実現するWebSphere Classic Replication Serverのコンポーネントをご紹介します。
- ツールによる、レプリケーション定義の手法をご紹介します。
- IMSデータベースへのデータ更新がUDB側に自動的に反映されていることをご確認いただきます。

< WebSphere Federation Server for z/OSの機能ハイライト >

- メインフレーム上の非DB2データソースに対して、SQLインターフェースによるアクセスを可能にし、メインフレーム特有のスキルを必要とすることなく、アプリケーションを開発できます。

< WebSphere Classic Replication Server の機能ハイライト >

- メインフレーム上の非DB2データソースと異種分散環境上のDBMS上に直接データを複製することが可能です。IMSをデータソースとするデータマート環境の構築が容易になります。

【対象製品】

- WebSphere Classic Federation Server for z/OS V9.1 (PID : 5655-R52)
- WebSphere Classic Replication Server for z/OS V9.1 (PID : 5655-R53)

【稼働環境 ~ 前提ソフトウェア】

- WebSphere Classic Federation Server for z/OS V9.1 (PID : 5655-R52)
 - z/OS V1.6 以降
 - IMS V8 以降
 - DB2 for z/OS V7 以降
- WebSphere Classic Replication Server for z/OS V9.1 (PID : 5655-R53)
 - z/OS V1.6 以降
 - IMS V8 以降

●会社名、製品名およびサービスは、それぞれ各社の商標または登録商標です。●掲載された情報は 2008 年 4 月現在のものです。事前の予告なく変更する場合があります。

●TEC (Technical Exploration Center) ではSW導入ご検討のお客様へデモや体感ハンズオンセミナーを実施しています。

日本アイ・ビー・エム株式会社 ソフトウェア事業

本デモに関するお申込・お問い合わせは弊社担当営業にご相談下さい。

<TEC#z004>